

特別企画展

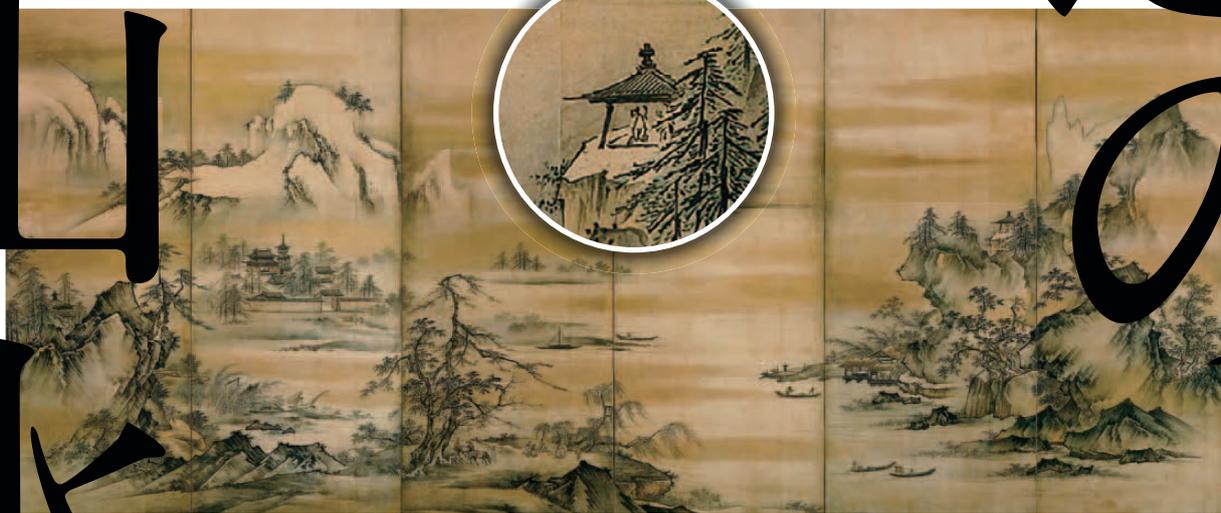
# 隠逸

# 山水

Landscapes  
Paintings  
Depicting  
Seclusion



四季山水図屏風(右隻) 狩野元信筆 室町時代 香雪美術館蔵 ※2月24日～3月12日展示



四季山水図屏風(左隻) 狩野永徳筆 桃山時代 香雪美術館蔵 ※3月14日～4月2日展示



【重要文化財】山水図屏風(左隻) 伝周文筆 室町時代 大和文華館蔵

2023年

2月24日(金)～4月2日(日)

※一部展示替あり

## 大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

—— 奈良・学園前 ——

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6 TEL (0742) 45-0544

●休館日/毎週月曜日

●開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

●入館料/一般 630円 高校・大学生 420円 小学・中学生 無料

※20名以上の団体は相当料金の2割引で引率者1名無料 ※「障がい者手帳」をお持ちの方とご同伴者1名2割引

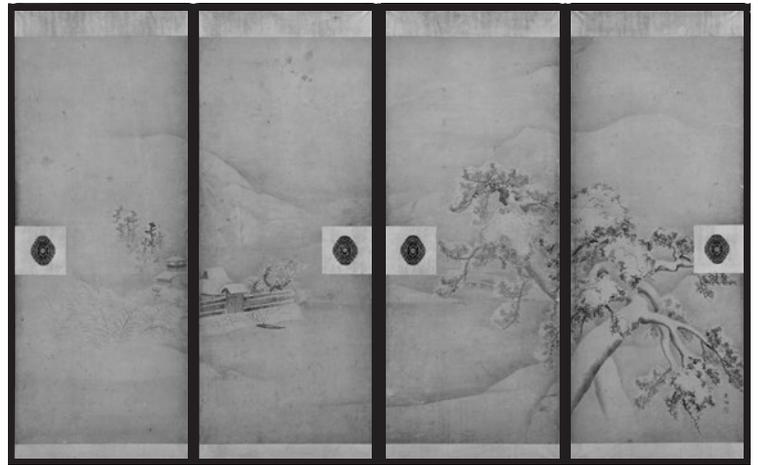
●アクセス/近鉄・奈良線(学園前駅) 下車 徒歩約7分

特別企画展

# 隠逸の



高士観瀑図 山本梅逸筆  
嘉永4年(1851) 大和文華館蔵



雪景山水図襖 山口素絢筆 江戸時代後期 京都国立博物館蔵

## Landscape Paintings Depicting Seclusion

Literary artists have aspired to live away from the chaos of life since ancient times. The exhibition contains landscape paintings that emerged from artists' ideal of seclusion. These include works from the Muromachi period to the Edo period.

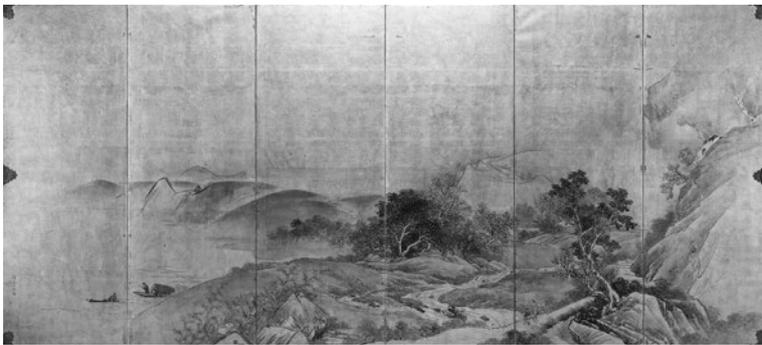


山水図 興悦筆 室町時代 大和文華館蔵

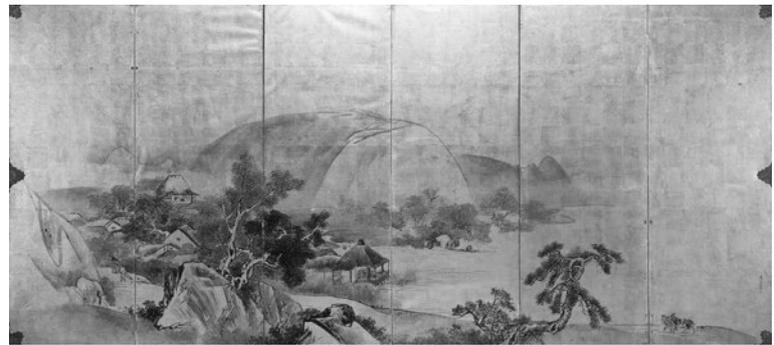
# 山水

巷の喧噪を離れた静かな場所で暮らすことは、古くから文化人たちの憧れでした。本展覧会では、美しい自然に満ちた風景を描きだした日本の作品を中心に展示します。水辺や山中にたたずむ理想の書齋を描いた禅僧たち、力強く整った自然の景観を作り出した狩野派、中国の画題や絵画様式を取り入れながらも己の個性を発揮した文人画家たち、実際に見てきたかのような現実味あふれる山水画を創作した写生画派など、様々な表現で描かれてきた山水画を見ていきます。

山水画はなぜ描かれ、鑑賞されてきたのでしょうか。室町時代から江戸時代まで、幾世紀ものあいだ愛されてきた山水画の意義と魅力を“隠逸”という観点から読み解きます。



金地山水図屏風 渡辺始興筆 江戸時代前期 大和文華館蔵

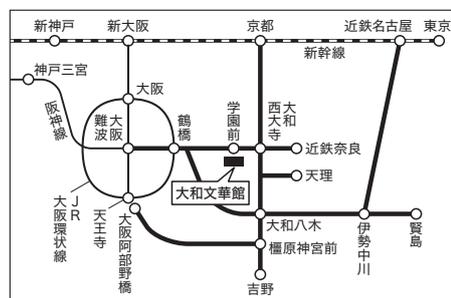


特別講演	3月12日(日)午後2時・講堂	「謎多き御用絵師 周文」 栃木県立美術館学芸課長 橋本 慎司 氏
日曜美術講座	3月19日(日)午後2時・講堂	「雪景山水図襖をめぐる」 当館学芸員 仁方越 洪輝
講座 美術の窓	3月5日(日)午後2時・講堂	連続講座「写楽—美醜を超えて」 第4回「写楽は誰か、その正体と写楽研究の最前線」 当館館長 浅野 秀剛
列品解説	毎週土曜日 午後2時	当館学芸部による ※新型コロナウイルス感染拡大の状況によっては、スライドによる展覧会解説となる場合があります。

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、人数制限をする場合があります。



近鉄・奈良線 学園前駅下車、南出口より  
徒歩約7分、無料駐車場あり



# 大和文華館

THE MUSEUM YAMATO BUNKAKAN

〒631-0034 奈良市学園南1-11-6

TEL (0742) 45-0544 FAX (0742) 49-2929



大和文華館  
ホームページ

@yamatobunkakan